

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

南部町「メダカとドジョウの棲む郷」清流再生計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

西伯郡南部町

## 3. 地域再生計画の区域

鳥取県西伯郡南部町の区域の一部（旧西伯町）

## 4. 地域再生計画の目標

南部町は、鳥取県の西端に位置し、平成16年10月1日に旧会見町と旧西伯町の2町が合併して誕生した町です。人口12,179人（平成17年4月1日現在）、面積114.03平方キロメートルで、旧西伯町の中央部に法勝寺川が流れています。法勝寺川は、数十年前までは県内でも有数の水質の良い川として、川のどこでもメダカやドジョウがみられましたが、今では水質の悪化からほんの一部でしかメダカやドジョウの生息が確認できない状況まで来ています。また、旧会見町を流れる小松谷川の支流の金田川をはじめ、町内のいたるところでホタルが飛び交い夏の風情を楽しめましたが、現在では唯一奥部の支流、金田川だけがホタルの里としてかろうじて清流を守っている状況です。

この原因としては、隣接する米子市のベッドタウンとして町内の数箇所にニュータウンや分譲団地が造成されたことによる新築住宅の増加、生活様式の変化に伴う生活排水の増加、工場の過度な河川水の取水による、水量の減少が考えられ、観光資源となるホタルやメダカ等の生息がほとんど確認できなくなりました。

町は、政策の大きな柱として、「自然と調和したまちづくり」をテーマに掲げて、総合的な土地利用の推進、エコタウン計画の推進、全町公園化の推進、快適な生活環境の整備、安全な生活環境づくり等の5つの事業計画を立案し事業を推進しています。

特に、の快適な生活環境の整備には、問題となっている生活排水を処理するために平成2年からは旧西伯町の中心部で公共下水道事業を、平成9年からは中心部周辺の農業地域で農業集落排水事業を、平成15年からは浄化槽の市町村整備推進事業を展開し、住民の快適な生活と自然環境を維持再生していく取り組みを行っていますが、普及率は61.2%にとどまり、依然として低い

状況です。

今回の汚水整備事業により、さらなる普及率の向上を図り、最終的には法勝寺川の水質を向上させ、かつての清流を再生することにより、生き物がたくさん棲む美しい川を求めて、南部町の近隣をはじめ都市部から観光客や親子連れなど多数が集い、法勝寺川と住民活動を活かしたホタル祭りの実施や、メダカの棲む里作りと位置づけた南部町の事業を展開することにより、地域の活性化を目指します。

(目標 1) 汚水処理施設の整備促進(汚水処理人口普及率を 61.2% から 70%に向上。

(目標 2) 「ホタルの里祭り」への集客人員を 1,000人から 1,500人に増加。

(目標 3) 町の中心を流れる法勝寺川の水質の向上を図り、BOD 値 1.5 mg / l を 1.0 mg / l 以下に向上。

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

旧西伯町の阿賀、清水川地区の公共下水道を整備します。

旧西伯町の大国と法勝寺の一部と東長田、上長田地区の浄化槽を整備します。

旧会見町の汚水処理施設(農業集落排水)は、ほとんど整備が完了していますが、旧西伯町は、まだ未整備の地域が残っています。合併による地域間格差をなくすためにも、早急に旧西伯町側の汚水処理施設(公共下水道、浄化槽)の整備を図る必要があります。このため、地域再生基盤強化交付金を活用することにより、旧西伯町地区の汚水処理施設を計画的に整備します。その整備により南部町民の住環境、特に生活排水分野の改善を図ると同時に、南部町全体の水質保全にも良好な影響を与え、環境改善にもつながります。そして、再生計画の目標であります汚水処理整備普及率の向上を目指します。

・ 公共下水道認可年月日 平成 15 年 3 月 17 日

## 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

### 「事業主体」

南部町

### 「施設の種類」

- ・ 公共下水道、浄化槽

### 「事業区域」

- ・ 公共下水道 南部町(旧西伯町)阿賀・清水川地区
- ・ 浄化槽 南部町(旧西伯町)大国と法勝寺の一部と東長田、上長田

### 「事業期間」

- ・ 公共下水道 平成17年度～平成19年度
- ・ 浄化槽 平成17年度～平成21年度

### 「整備量」

- ・ 公共下水道 管路延長 = 150 L=1,090m  
終末処理池 1箇所
- ・ 浄化槽(市町村設置型) 230基  
(内訳5人槽 40基、7人槽 165基、10人槽ほか25基)

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

- ・ 公共下水道 阿賀・清水川地区で911人
- ・ 浄化槽 大国と法勝寺の一部と東長田、上長田で621人

年度別計画表

事業名	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	計
公共下水道事業量	管路 1,090m	終末処理 場処理池 増設	終末処理 場処理池 増設			
浄化槽設置数	30基	50基	50基	50基	50基	230基

### 「事業費」

- ・ 公共下水道 350,000千円  
(うち、国費 175,000千円)
- ・ 浄化槽 276,000千円  
(うち、国費 92,000千円)
- 合計 626,000千円  
(うち、国費 267,000千円)

### 5 - 3 その他の事業

#### 水辺を利用したイベント

- ・ ホタル祭り(毎年6月第1土曜日)

小松谷川に集まるホタルを観察するために、竹筒にろうそくを入れて、この明かりをもって、川の周辺を散策する。また、盆踊りも同時に開催され、地元住民と観光客とが一体になってホタルの幻想さや神秘さを堪能する。

- ・ ヘラブナ釣り大会(毎年6月第2日曜日)

緑水湖(法勝寺川の上流のダム湖)で、ヘラブナのつり大会を開催し、大物賞、大漁賞など各部門で競技を行い1位から3位までを表彰する。

- ・ 夏休み、親子川の生き物大観察会(毎年7月第4日曜日)

夏休みに入ってからすぐに、小学校の児童を対象に親子で、法勝寺川の中に棲む生物を捕獲して、名前や生態などを勉強する、観察会を開催する。

#### 清掃ボランティア団体の育成(年間)

法勝寺川の桜並木等(3000本桜)を管理する団体や定期的に河川敷やその周辺を清掃管理するボランティアを育成する。

#### 法勝寺川一斉清掃の日(毎年6月第1日曜日)の実施

町内の各自治会ごとに、法勝寺川の河川敷や周辺を一斉にごみ、空き缶拾いを実施し、美化を図る。

## 6 . 計画期間

平成17年度～21年度

## 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、南部町は4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。また、必要に応じて事業の見直しを図るために、町、関係会社、地元農業協同組合等で構成する南部町「メダカとドジョウの棲む郷」清流再生計画評価協議会」を設立し、施設の整備状況、会社の運営状況等について評価・検討を行う。

なお、整備された污水处理施設については、水質検査、維持管理等が適切に行われていることについて、施設管理者と異なる第三者が行った水質検査等と同協議会において把握し、必要に応じて町に対して適切な措置をとるよう提言する。

8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項  
該当なし